

SAJ

サバーイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバーイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.44

2022.4 月号

カンボジア孤児院

『女性の日』式典で 伝統舞踊を披露！



カンボジアの祝日である「女性の日」に、孤児院の伝統舞踊チームが舞踊を披露しました。以前の中心メンバーが卒園したため、新しく結成された伝統舞踊チームとしては初披露となりました。初披露が大舞台ということもあり緊張していたと思いますが、現ポーサット州知事の奥様の目の前で、華麗に伝統舞踊を披露することが出来ました。大舞台を経験したことで、自信に繋がったことでしょう。これからも機会があれば、たくさんの方たちにお見せすることが出来ればと思います。

支援活動のご報告 (指定寄附別)

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院事業



高校生が大学、専門学校見学

4月1日、孤児院の高校生たちは自身の進路先になりえる大学や専門学校を見学しました。新校舎となったARS(日本の技術を習得したい人を日本へ送り出す機関)や大学の教室、研究室を実際に見て、教職員から施設の説明を受けることができました。今回の見学を通して刺激を受け、将来のイメージがより明確になったと思います。



自転車置き場の区画整備、定置管理の実践

自転車置き場の整理が出来ないので、自転車置き場内のコンクリートに区画と番号を振りました。自分の自転車を留める番号を定めて、そこに駐輪していくルールにしました。毎日、毎日、ぐちゃぐちゃに置いていた自転車置き場が、子どもたちにも分かり易いことで、自転車の整理整頓は出来るようになりました。自転車置き場以外でも今回の定置整備をヒントにして、図書や農機具の整理整頓が出来る状態にしていきたいと思います。



お米支援

お米の配布

2月23, 24, 25日にコンポンチュナン州14校、ポーサット州14校にお米を配布しました。



「夢追う子どもたちの家」の生活

孤児院のアンナンタナウ中学3年生(3名)を紹介します。



チェン・チョーイ (16歳) 女性

将来の夢 : 数学の先生

現在の孤児院 女子の子ども代表です。責任感が強く、統率力もあり、子どもたち、職員たちからとても信頼をされている、頼もしい女の子です。成績も優秀で特に数学が好きで、将来は数学の先生になりたいと思っています。伝統舞踊でも、センターを務め、先日はポーサット州の女性に感謝をする式典で州知事の奥様の前で伝統舞踊を披露いたしました。練習をたくさんしましたので、堂々と上手に踊ることが出来ました。今後の活躍がとても楽しみな一人です。



ヒアン・モニーレアッサー (15歳) 女性

将来の夢 : 電気エンジニア

元気で、いつも明るいレアッサーは、学校へ行く時と帰って来る時のあいさつは園内で一番です。勉強も先月はクラスで成績が5番になりましたが、まだまだ上をねらっています。園内には1学年下に弟のセインホンがいます。園内の日本語の授業ではとなり同士に座り、弟に教えている姿を見ると、本当に弟想いの良いお姉さんです。弟のセインホンもお姉さんと同じ電気エンジニアになりたいと思っています。姉弟そろって、夢を掴めるよう、これからも勉強をがんばってほしいです。



チェン・サラ (15歳) 男性

将来の夢 : 日本語通訳

孤児院に入園して3年目を迎えました。入園前は学校へ通うことが出来ていなかったことで、勉強に付いていくことが出来ずに大変でした。追い打ちをかけるかのようにコロナで学校も休校となり、勉強することの難しさを実感していました。学校が再開されて今年最初のテストで成績が10番に入ると、サラの目の色が変わりました。日本語の勉強も俄然、力が入ったようです。将来はSAJ プノンペン事務所のユット所長のような日本語の通訳になることです。これからのサラに注目してください。

日本事務局からの報告

SAJ新体制

4月1日からSAJ日本事務局は新体制となります。これまで事務局長をしていた佐藤がカンボジアの孤児院へ行き、孤児院を担当します。孤児院にいた伊藤は日本へ帰国し、日本事務局長となります。



事務局長 伊藤



孤児院 担当 佐藤

孤児院で子供たちの
幸せのために
夢を追いかけて
夢を叶えるために
伴走して参ります。

里親様から Zoom で大学合格祝い

3月の理事評議員会前に、今年孤児院を卒園し大学に入学したパーと里親様である鳥井様が Zoom で懇談し、大学合格報告とそのお祝いをしました。鳥井様にはパーが6歳で孤児院に入園してから13年もの間、ご支援いただきいつも温かく見守っていただきました。パーも鳥井様の期待に応え努力の末、今年大学に合格をいたしました。パーの姉妹であるピー、ポーも参加し現状報告や悩み事の共有ができ、貴重な時間を過ごしました。



理事評議員会の報告

《構成メンバー》

- 代表理事: 渡邊美樹
- 理事: 鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮
- 業務執行理事: 青木茂雄
- 評議員: 大江光正、清水邦晃、鎌田厚司、矢野博文、戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美
- 監事: 片山進平、清野貴彦

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

第225回理事評議員会が2022年3月28日に開催されました。(一部オンラインにて)

〔報告事項〕

- 報告1: 孤児院報告 近況報告
- 報告2: プノンペン事務所報告
- 報告3: バングラデシュ報告
- 報告4: 会計報告

〔決議事項〕

- 2022年度の事業計画・
- 予算に関する検討と承認



今後の予定

4月25日…理事評議員会、5月24日…理事評議員会、6月27日 13:00~15:00…総会

3月の理事会・評議員会で、2022年度の事業計画と予算が承認されました。「学校建設事業」は年間20校のペースでしたが、コロナの影響で昨年度は15校まで減少しました。しかし、2022年度は18校まで戻し(累計351校)、翌年度以降に年間20校ペースに戻す足がかりにいたします。

貧しい世帯の子どもに制服や文房具を配布する「就学支援事業」、貧しい世帯に子ども一人当たり毎月10kgのお米を配布する「食糧支援事業」は、コロナ前は約1,000世帯を対象としていましたが、2022年度は約2,400世帯まで対象を拡大します。コロナ禍による失業で極貧家庭が増えたことに加え、ポーサット州社会福祉局からの新たな要望に応えたことも大幅拡大の要因となっています。ポーサット州社会福祉局からは「SAJはもっとも模範的なNGO」と高い評価を受けており、2022年度も社会福祉局と連携して、一人でも多くの子どもたちに支援の輪を広げて参ります。「孤児院事業」においては、前年度は高校卒業試験において孤児院始まって以来の輝かしい成績を収め、日本語検定試験では3名のN5合格者を輩出することができました。2022年度は、夢教育を

さらに推進し、昨年度に整備した図書館を活用しながら、子どもたち一人ひとりの夢に伴走して参ります。

バングラデシュの「学校運営事業」においては、2022年度に校舎の5階増築部分が完成します。2013年の開校時は2階建ての校舎からスタートしましたが、その後、3階、4階と増築を重ね、校庭の拡張や体育館の建設も行いました。5階の増築によって、定員1,500人の生徒が最高の環境で学べる体制が整いました。バングラデシュのモデル校になるという目標に向けて、教職員一丸となって取り組んで参ります。

皆様の温かいご支援によって、SAJの活動は年々広がり、現地からはたくさん「ありがとう」をいただいております。2022年度も、皆様の変わらぬご支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。



NDMSC卒業生が、全員HSC(高校卒業資格試験)を合格して表彰されました

ふれあいサポーター募集

文房具や制服がないため学校に通えない子どもたちが増えています。ふれあいサポーターになって「子どもたちの学習の機会を守っていききたい」と思われる方は、SAJ事務局までご連絡ください。

※ふれあいサポートに関しましては、会員に加入が必要となります。あらかじめご了承ください。
※ご不明な点、ご質問等ございましたらお気軽にSAJ事務局にご連絡ください。



大勢います！
子どもたちは
まだまだ

ご支援いただいた寄附

2022年

2月の寄附金合計 15,798,371円

(内訳) 会員会費 2,869,360円

一般寄附 472,682円

指定寄附 12,456,329円

募金箱回収ありがとうございました

2022年1月募金箱回収

□株式会社 ビッグスマイル

□ワタミ(株) 中京センター



募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略)

※法人名、団体名は2022年1月現在のものです。

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。



現在、輸送が遅れていますがカンボジアの子どもたちに送り届けます！

物品寄附

現在、孤児院ではノートパソコン及びスマートフォンが不足しております。リモートによる授業やzoomによるコミュニケーションが増えたからです。昔使用していたものや、新しく買い替えようと思っている方がいらっしゃいましたらよろしくお願い致します！

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2020年度)



32億

448万1,028円

建設した学校の合計
(2001年度～2020年度)



318校

現在、SAJの建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数
(2021年3月現在)



100,943人

ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計
(2003年度～2020年度)



16,346人

SAJの建設した学校でお米を受け取った児童数の累計
(2006年度～2020年度)



12,312人

SAJの建設した学校で朝食を支給された児童数の累計
(2006年度～2020年度)



125,879人

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1口 12,000円
法人会費(年額)1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

●学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附 ●ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
●食の支援寄附(金額自由) ●孤児院運営寄附(金額自由) ●孤児院運営会費(12,000円/月)
●孤児院里親会費(12,000円/月) ●奨学金寄附(金額自由) ●学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://www.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局: 00140-5-345903

●三井住友銀行: 蒲田支店(普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。